

	神戸大学 農学分野
学部等の教育研究 組織の名称	農学部（第1年次:150 第3年次:10） 大学院農学研究科（M:126 D:25）
沿革	<p>昭和24（1949）年 兵庫県立農科大学開学</p> <p>昭和27（1952）年 兵庫県立兵庫農科大学に改称</p> <p>昭和41（1966）年 神戸大学農学部設置（兵庫農科大学から移管）</p> <p>昭和47（1972）年 大学院農学研究科修士課程設置</p> <p>昭和56（1981）年 大学院自然科学研究科博士課程後期課程設置（後期三年の課程のみの博士課程）</p> <p>平成6（1994）年 大学院農学研究科を改組し、大学院自然科学研究科博士課程前期課程とした</p> <p>平成19（2007）年 大学院自然科学研究科博士課程を改組し、大学院農学研究科博士課程設置</p>
設置目的等	<p>神戸大学農学部の前身である兵庫県立農科大学は、昭和24（1949）年に、「我国、特に兵庫県における農業全般の進歩発達に貢献するために、農学の学理と応用を研究し、教養高き農学者・農業技術者等を養成する」ことを目的として、篠山に設置され、当初、農学科のみで出発した。その後、畜産学科と農芸化学科を増設し、昭和27（1952）年には兵庫県立兵庫農科大学と改められた。</p> <p>国立移管に向けて、学科・講座の全面的な改組を経て、昭和41（1966）年に神戸大学農学部となり、翌昭和42（1967）年には、農学部学舎の六甲台への移転が完了した。</p> <p>昭和47（1972）年、「一般的並びに専門的教養の上に広い視野に立って精深な学識を修め、専門分野における理論と応用能力を養う」ことを目的とした修士課程、大学院農学研究科が設置された。</p> <p>昭和56（1981）年、現代における自然科学系分野に対する学問的並びに社会的要請をふまえて、理学、工学及び農学にまたがる幅広い立場から総合的な新しい学問体系の確立を図り、また、その教育・研究を通じて、科学・技術の発展と人類の福祉向上に貢献することを目的に、農学部、工学部、理学部を母体とする独立研究科、大学院自然科学研究科博士課程後期課程（後期3年の課程のみの博士課程）が設置された。</p> <p>平成6（1994）年、理学研究科、農学研究科、工学研究科の修士課程を統合し、旧来の研究科間の枠を取り払い、より高度な教育をめざ</p>

	<p>す旧研究科の趣旨を残しつつ、より広い視野の研究者・技術者の育成を目的に、大学院の一貫した教育を進めるため、独立研究科である後期課程と修士課程のみの3研究科（理学研究科、工学研究科、農学研究科）とが分離した状態を解消し、区分制博士課程としての自然科学研究科博士課程前期課程に移行した。</p> <p>平成19（2007）年、学士課程から博士前期課程、博士後期課程を通じた教育の組織的展開を図り、従来の分野横断的な教育研究を維持しつつ、学生の視点に立った教育、ディシプリンを重視した教育の展開を図ることを目的に、独立研究科である自然科学研究科から一般研究科の農学研究科（博士課程前期課程・後期課程）に改組し、翌平成20（2008）年には学部を改組し、学部・修士・博士課程一貫の3学科6コース／3専攻6講座体制とし、現在に至っている。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>神戸大学は、国際貿易港である神戸港を有する大消費地京阪神の中にあって、丹波・但馬・播磨・淡路という大農業生産地に隣接した神戸に位置している。この生産地-消費地-国際貿易港を有する立地条件を生かし、神戸大学は、「農場から食卓まで (From Farm To Table)」の「食料・環境・健康生命」に代表される農学の諸課題の探究を通じて、我が国及び国際社会の発展に寄与する人材の育成と、研究、社会貢献に取り組んできたところであり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「農場から食卓まで」の「食料・環境・健康生命」に関する幅広い知識と倫理観を養うとともにフィールドにおける実践学習や先端技術を駆使した実験・実習を展開し、豊かな人間性と専門的知識、国際性、課題探求能力を有する高度な専門人材の育成の役割を果たすとともに、豊かな学識と高度な研究能力を有する先導的な人材の育成の役割を果たす。</li> <li>○ 消費者を意識した責任ある農作物生産から農業の重要性を学ぶ農場実習や食農コープ教育等の実践的な学習、食の安全保障や自然環境の保全に関する実務型の学習、分野横断的な先端融合教育プログラムに加えて、ベトナムやフィリピンの大学等と連携した海外農学演習等の国際化教育を進めてきた実績を生かして、更なる先端技術を駆使した実験・実習を展開するとともに、一層の学際性・国際性の醸成を目指した教育改革を進め、実践的かつ複眼的な視野を持ち、グローバルに活躍できる農学系人材及び研究者を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。</li> <li>○ 家畜育種・繁殖学、植物科学、微生物学、食品科学、農学分野と</li> </ul>

工学分野の融合であるバイオリファイナリー研究など、農学の多くの分野における高い研究実績と、分野の枠組みを越えた融合研究を推進する全学協力体制も生かし、先端的で特色ある農学研究及び他の学問分野と連携した融合研究を推進する。

- 開発途上国の農業関連課題解決を目的としたJICAトレーニングプログラム、アジア若手研究者招聘プログラム等の実績を生かし、世界に開かれた国際都市神戸に立地する大学として、アジア・アフリカ諸国の留学生や若手研究者を積極的に受け入れるプログラムの開発を更に進め、我が国及び国際的な農業生産・農産物貿易にかかる諸課題の解決を通して国際貢献に資する。
- 篠山市や兵庫県との地域連携活動、兵庫県をはじめとする近隣自治体の農業政策に関する審議会への参画等、地域社会に貢献してきた実績を生かし、周辺地域等の農業及び食品産業の振興、更に農地や森林の環境保全に寄与する。また、バイオプロダクション次世代農工連携拠点形成プログラム等の実績を生かして、産業界との連携を更に深め、新規バイオ産業の創成等に寄与する。
- 博士課程後期課程への社会人受け入れの実績を生かして、社会人学び直しを推進し、農業・食品・バイオ関連産業の発展に資する。